

テーマ : M字カーブの解消について(ポジティブアクション②)

「M字カーブ」とは？

- (1) 「M字カーブ」とは、女性の就労率(ないし労働力に占める女性の割合)を年代別に比較した場合にM字型のカーブを描くことをいう。つまり、若年層(主に25歳未満)では、比較的女性の就労率が高いが、25歳～44歳までの就労率が落ち込み、その後就労率が上昇するためにM字型カーブを形成することになる。
- (2) 近時、M字カーブは、谷が浅くなるとともに上方にシフトしている、と言われるが、その主な原因は、女性の晩婚化、未婚化にあると言われており、子育て中の女性の就労率には大きな変化はなく、子育て中の女性の就労率の低下及び配偶者の転勤に伴う離職がM字カーブ形成の主たる原因である、と言われている。

M字カーブ解消の必要性

- (a) 我が国においては、近時の少子化傾向から近い将来において労働力不足が生じることが予想され、現に、一部の業種には労働力不足による労働環境の悪化が指摘されている。他方で、M字カーブの谷の部分には相当数の潜在的就労希望者が存在する、と思われ、労働力不足の解消のためには、M字カーブの解消が不可欠であると認識されている。
- (b) 前述のとおりM字カーブの主たる要因は、女性に対する不合理な雇用待遇、及び子育て支援の不足が主たる原因であると思われ、その解消のためには、積極的な施策すなわち一定のポジティブアクションが不可欠となる。

第三次男女共同参画基本計画における提言内容

- (i) 第三次男女共同参画基本計画においては、M字カーブ問題の解消に向けた取り組みとして、人事慣行、雇用待遇の改善などの女性の継続就業のための環境整備の必要性を指摘する。このこととの関連で、保育所設置等の数値目標(平成22年1月29日閣議決定「子ども・子育てビジョン」)の達成なども推進することとしている。
- (ii) 次に、企業の取り組みに対する支援として、男女共同参画に積極的に取り組む企業に対するインセンティブの付与方法(M字カーブ問題の解消に資する税制等を含む。)を検討する、としている。

留意点

今後優遇税制などのM字カーブ解消に向けたポジティブアクションが具体化していくものと予想されるが、これに対応するためには女性退職者に相当する中途採用を実施するだけでは不十分であり、子育て中の就労支援などの積極的施策によって、年代別の女性就労者の割合を一定化することが求められる可能性が大である。

上記問題についての詳細のお問い合わせは当事務所までお願いいたします。

なお、アクトワンリーガルレポート vol.19は、「マタニティ・ハラスメントについて」(14L10)の予定(2014/12 発行予定)としております。 以上